気仙沼通信【被災地を行く　第９回】　1403020

上　田　　勉

**津波避難場所で９３名が津波の犠牲に（気仙沼市杉ノ下地区）**

杉ノ下地区は、私が住んでいる仮設住宅から車で 5 分ぐらいの近くにあります。気仙沼の名勝（潮吹き岩の）岩井崎や御伊勢浜海水浴場も近くにあります。地区の人々は、漁業などに従事して、海と共に生活をして来ました。

「して来ました」と言うのは、津波の避難場所で 93 名の方々（5 歳～93 歳）が津波で亡くなりました。そして、全ての家屋が流されたり取り壊されたりして、地区は消えました。

杉ノ下地区の残された方々は、慰霊碑を建てて、亡くなった方々を追悼するとともに、二度と津波の被害に遭わないために、慰霊碑を建立して、誓いを新たにしています。

以下は、慰霊碑に書かれた言葉です。

| 絆 | 東日本大震災の爪痕 |
|---|---|
| あなたを忘れない<br>「ここに居れば大丈夫だ」<br>しかし、無情にも第一波で<br>下手から家や車が押し寄せ<br>そして、第二波、第三波が…<br>九十三名の尊い命と<br>全ての財産が海へと散った<br>あの一声が無情の叫びに<br>私たちはあなたを忘れない<br>今まで有難う<br>こころやすらかに<br><br>**杉ノ下地区民一同** | 平成 23 年 3 月 11 日（金）<br>午後 2 時 46 分<br>マグニチュード 9.0<br>津波の高さ 18 メートル<br>千年に一度と言われる大地震と<br>巨大津波に襲われた杉ノ下地区は<br>壊滅的な被害を受けた。<br>地区民 313 名、85 世帯の<br>家屋は、巨大津波に呑みこまれて<br>土台を残してすべて流失<br>75 世帯、219 名が<br>避難生活を余儀なくされた。<br>平成 23 年 12 月 10 日<br>残されていた全壊家屋が取り壊され<br>杉ノ下地区から全ての家屋が消えた。<br>この悲劇を繰り返すな<br>大地が揺れたらすぐ逃げろ<br>より遠くへ…より高台へ…<br><br>**杉ノ下遺族会**<br>**施工　小野寺　昭夫** |

【風光明美な岩井崎や海に近く、海と共に生きてきた杉ノ下地区】

【津波避難場所で９３名が犠牲になった杉ノ下地区に建つ慰霊碑】